

学校にいるとき

1 自分の身を守る

- まわりをよく見て、「**落ちてこない・倒れてこない・移動してこない**」場所で揺れがおさまるのを待ちます。
- 机やテーブルの下にもぐり、脚をつかみ、揺れがおさまるのを待ちます。
- 体育館など広い場所にいたら、中央付近にしゃがんで、揺れがおさまるのを待ちます。

2 避難する

- 放送や先生の指示にしたがって避難します。落ちている物や倒れている物に気をつけ、「**お・は・し・も**」の約束を守って避難します。
- 指示があるまで、その場で落ち着いて待ちます。

地震

家やほかの場所にいるとき

(台風・水害)

1 自分の身を守る

- 食器や本棚、蛍光灯などが「**落ちてこない・倒れてこない・移動してこない**」場所で揺れがおさまるのを待ちます。
- 机やテーブルなど頭をかくせる物の下にもぐり、脚をつかみ揺れがおさまるのを待ちます。
- あわてて火を消しに行ったり、外には飛び出したりしません。
- 揺れがおさまったら窓を開けます。

2 避難する

- うちの人といっしょに避難所へ避難します。建物(かわら)、ブロックべい、門柱、車などに気をつけて移動します。
- うちの人がないときは、近所の人といっしょに避難します。

登下校中のとき

1 自分の身を守る

- まわりをよく見て、「**落ちてこない・倒れてこない・移動してこない**」場所で揺れがおさまるのを待ちます。
- 建物(かわら)、ブロックべい、門柱、自販機からはなれ安全な場所に移動します。
- ランドセルやかばん、バッグなどで頭をかくし、しゃがんで揺れがおさまるのを待ちます。
- 自力避難できないようなけがをした場合、近くの大人に助けを求めます。

2 避難する

- 揺れがおさまったら、余震に備えて近くの避難所(学校・公民館・公園)に避難します。避難所で指示(学校や家族からの連絡を含む)があった場合は、それに従います。
- 余震もなく避難所で特に指示がない場合は、以下の行動をとります。
 - ◆登校中: 落ち着いたら学校に移動します。
 - ◆下校中: 落ち着いたら帰宅し、家族と過ごします。

保護者の皆さまへ

学校の対応について

1 児童が在校中の場合

- 通学路の安全が確認された場合は、教職員が付き添い一斉下校をします。
- 通学路の安全が確保できない場合は、お子さんを学校に留め置き、保護者の引き取りを待ちます。
 - ◆携帯メールシステムが使用可能の場合は、状況をお知らせします。
 - ◆停電時は、学校からの連絡が届きません。お子さんが下校しない場合は、迎えに来てください。
 - ◆緊急用電話回線確保のため、学校への電話での問い合わせは自粛願います。

2 児童が登校前の場合

- 地域や学校等に被害が生じた場合は、「臨時休校」とします。
- 地域や学校等に被害がなかった場合は、「登校」とします。ただし、保護者が危険と判断した場合は、登校を見合わせてください。台風などの場合は、登校時刻の変更(自宅待機)等の対応を行う場合もあります。
 - ◆携帯メールシステムが使用できない場合は、可能な範囲(車載用広報無線など)で状況をお知らせします。
 - ◆緊急用電話回線確保のため、学校への電話での問い合わせは自粛願います。

3 大規模停電の場合

- 午前7時の時点で、全市あるいは地域内が停電の場合は、「自宅待機」とします。
- 地域への通電が再開し、信号機作動などの通学の安全が確保されたら、「登校」とします。
- 終日通電が再開しない場合は「臨時休校」とします。
 - ◆可能な範囲(車載用広報無線など)で状況をお知らせします。

家族みんなで確認

『避難場所・避難経路・我が家の約束』

避難場所 ()
待合場所 ()